

# 国境と言葉を 越えた友情 ～セバストポール訪問記～



2009年（平成21年）3月25日から4月5日までの12日間の日程で、アメリカ合衆国・セバストポール市を訪問し、全員無事に帰国しました。

セバストポール市はカリフォルニア州・サンフランシスコから車で北に約1時間半、リンゴとブドウ畑が広がり、ワインの生産でも有名です。また、人々は優しくとてもフレンドリーです。

中学生18名（山内中8名、武雄中2名、青陵中8名…武雄中、青陵中からは今回が初めての参加であり、これからの交流の拡大が期待されています。）と引率4名、大人の部7名、市長・議長・随行団員の3名の総勢32名の訪問となりました。

セバストポールでは、市民の皆様の温かい歓迎を受けました。これまでの交流によりお互いが知り合いになり、信

頼を築き上げ、再会を楽しむ光景もあり、素晴らしい交流であると確信しました。

また、32名全員ホームステイを体験しました。特にほとんどの中学生は初めての海外、親元を離れてのホームステイで、最初は戸惑った表情を見せていましたが、英語や日本語でコミュニケーションを図り、日が経つにつれて笑顔が出てくるようになり、別れの日には「帰りたい」「来年の再会が楽しみ」という声が聞かれました。

交流が始まり24年。来年は、セバストポールの人々を温かく歓迎したいと思います。

この交流にご協力いただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

セバストポール市訪問団  
団長 谷口 優 他一同



昭和60年に武雄市（当時山内町）とセバストポール市の国際姉妹都市の締結がなされて以来、住民が一体となった文化交流が続いています。

今年は中学生と大人あわせ32名でセバストポール市を訪問されました。

文化や歴史等を体感することで異文化とコミュニケーションを図り、国際的な視野に立つ人材の育成を目的に行われています。

- ◆主 催 やまうちワールドフレンズ協議会
- ◆日 程 平成21年3月25日～4月5日（12日間）
- ◆訪問先 アメリカ合衆国 セバストポール市

## 訪問に参加した生徒達の感想

- 初めての英語での生活や、ドルでの買い物、アメリカの食べ物やいろんな人との出会いなど、毎日exciting（エキサイティング）でした。
- とにかくお菓子でも、お肉でも、ハンバーガーでもボリュームが大きい！
- ウェルカムパーティでアルゴリズム体操ではとても盛り上がり、トップオブザワールドではみんなリズムに乗ってくれました。
- 野球観戦でアメリカでは1人ひとりがばらばらに応援して日本とはまた別の楽しみ方ができた。
- アメリカについて知られたことも嬉しかったけど、日本について知ってもらえたことも嬉しかった。
- 私が英語を一生懸命伝えるように喋っていると私のホストも理解しようと聞いてくれたので嬉しかったです。
- ホストファミリーデーは2日間という短い間だったけど、この2日間でホストファミリーとすごく仲良くなれたと思います。
- Thank youカードは全然うまく読めなかったけど、ホストファミリーはとても喜んでくれた。
- お別れの朝、集合場所に着いたときに「帰りたい！」と思った。
- 旅に参加して大切な友達と大切な思い出がたくさん作れて本当に良かったです。
- アメリカにもう1つの家族ができたみたいで、本当にたのしかったです。
- またアメリカに行ける機会があったらセバストポールに行きたいです。
- セバストポールのみなさんはとても親切で温かい人たちだった。
- 感謝の気持ちを忘れずに、しっかりとアメリカでの経験をこれからも役立たせていきたい。
- あまり進んで話せなかった自分がこのホームステイを通していろんな人と話せるようになった。
- この訪問でアメリカや苦手だった英語が好きになりました。
- 来年日本に来たときは、親切にしてあげたい。
- もっと英語を勉強して今度はたくさん話をしたいです。



来年の4月上旬には、セバストポール市からの訪問団が武雄市を訪れます。今回は山内町だけでなく、朝日町に4名、武雄町にも4名の中学生がホームステイします。より多くの市民の皆様と歓迎し、素晴らしい国際交流ができることを楽しみにしております。

なお、平成22年度の訪問団応募資格は現在の小学6年生と中学1年生です。武雄市内全中学校からの応募をお待ちしております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

やまうちワールドフレンズ協議会会長  
福田昭子 他一同



問 政策部企画課

☎ (23)9325

担当:古賀